

小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表

記入日： 2024 年 3 月 24 日

法人名	有限会社多胡設計	代表者	多胡 佑毅
事業所名	小規模多機能ホームくわのみ	管理者	金井智恵美

法人・事業所の特徴	小規模多機能居宅介護施設の特徴を活かし、利用者一人ひとりに思い及び人格を尊重し、ご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めています。在宅を軸とする住み慣れた地域での生活を継続するために、地域住民との交流や地域活動への参加を図り、心身の状況、環境を踏まえて通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に提供しています。
-----------	---

出席者	
-----	--

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	定期的に事業所自己評価を振り返り、出来ている事は継続して取り組み、出来ていない事は改善するように話し合い、ケアの質の向上に努めます。	出来ている事と出来ていない事をスタッフ全員が把握できるように話し合いを定期的に行った。全員が出来るようにするために繰り返し振り返り話し合いを行っていく必要があると感じた。	・ミーティングは日常的にいる職員で行えば大丈夫です。	・自己評価の重要性を理解して、定期的に全スタッフで繰り返し理解に努めます。 ・勤続年数に関係なく意識統一が出来るように、情報の共有に努めます。 ・引き続きケアの質の向上に努めます。
B. 利用者・家族に対して	ケアプランを閲覧し介護者がより良いケアを行えるように努めます。分かり易い記録が出来るようにして記録したものを職員間で共有し振り返りながら利用者の自己実現に繋げていきます。ご家族様のご要望を傾聴して安心出来る関係性を築けるように努めます。地域資源把握のため、今後も勉強会を行います。	ケアプランを閲覧する事でご家族様やご本人様が望んでいる事が理解できて、ケアがしやすくなった。記録はスタッフ全員が理解しやすい言葉で記入する事でどのように動くべきか分かり易くなった。地域資源の活用に関しては勉強会を繰り返している。	・コロナ禍の状況でこまめな情報共有、コロナ対策が出来ていたと思います。 ・体調管理を引き続き慎重におこなっていただきたいと思います。	・利用者様をサポートするためケアプランを把握し実践します。内容結果を記録出来るようにして記録したものを職員間で共有し振り返りながら利用者の自己実現へ繋げていきます。 ・記録の書き方を工夫し誰もが把握できる書き方を実践する。 ・地域資源把握のため、今後も勉強会を行う。

C. 事業所について	引き続き、個人情報、プライバシーや虐待に対して勉強会を重ねて、職員の個人的見解による発言や行動は控え、事業所の考え方を理解し常に事業所を代表する者であると考え行動する。	個人情報の書類など出したままにしてしまう事がある時はスタッフ同士声を掛け合えるようになった。事業所の考え方を理解するために分からない事は都度質問するようにした。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後介護相談員事業の再開予定で辞めている方も居ますので、応募する予定もあります。 ・整理整頓はできています。 ・スタッフの連携を取りより良いサービスに繋げられるようにしていきたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き個人情報、プライバシーや虐待に対して勉強会を重ねて、職員の個人的見解による発言や行動は控え事業所の考え方を理解し常に事業所を代表する者であると考え行動する。 ・今後も職員が研修に参加出来るよう調整し職員の質の向上に努める。
D. 地域とのかかわりについて	引き続き、地域の行事に参加できるように努めます。ご利用者様のお住いの行事や催し物を把握し、必要な支援を行います。暮らしや介護の相談窓口として地域の方を支えられるように努めます。	お住いの行事など参加したい方には急なサービス内容変更も対応してきた。くわのみとして地域のゴミ拾いに参加している。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域との関わりが難しいと思いますが草むしりなどに参加出来るようにしていきたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域の行事に参加出来るように努めます。 ・ご利用者様のお住いの行事や催し物を把握し、必要な支援を行います。 ・暮らしや介護の相談窓口として地域の方を支えられるように努めます。
E. 運営推進会議について	可能な限り感染症対策を行いながら状況を確認し会議開催が出来るように努めます。運営推進会議を活かして、地域に開かれた市悦作りに努めます。今後も頂いたご意見を事業所全体で把握し周知出来るように努めます。	会議は縮小して行っているが、感染症や地域の事など貴重な情報交換を行っていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での開催が難しい時期もありましたが、今後は徐々に地域の方も参加できるようにしていきたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りコロナ感染症の状況を確認しながら会議開催できるように努めます。 ・運営推進会議を活かして、地域に開かれた施設作りに努めます。 ・今後も頂いたご意見を、事業所全体で把握し周知出来るように努めます。
F. 事業所の防災・災害対策について	定期的に訓練を行う事で災害に対し手の意識を高めるように努めます。スタッフ会議などで様々な災害を想定して話し合う場を設けて行きます。	火災は勿論地震や風水害も想定して話し合った。住宅が密集していたり道が狭く瓦礫がある状態で避難をどのようにすべきか具体的に意見が出されて地域の方の協力を得るための訓練を行う事が大切だと感じた。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練は年4回出来ているとの事で引き続きしていきたいと思っています。 ・今後は地震を想定した避難訓練も出来たら良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な災害に備えて会議で繰り返し防災について意識を高めるように努めます。